

教育研究所だより

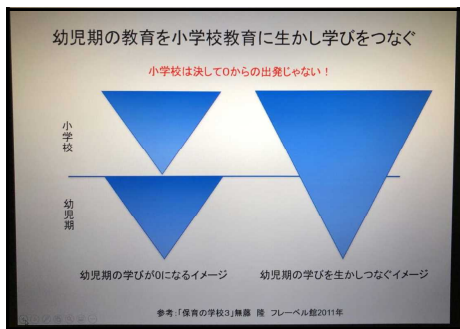


宮古島市立教育研究所
指導主事 砂川 睦紀
宮古島市平良字西里1140
TEL 73-1104

これからの保育と 幼小接続を考えるセミナー

第2回(講演)
「チームワーク・ネットワーク・フットワークの
幼小接続」
(上越教育大学特任教授:長谷川敬子先生)

第2回目となる「これからの保育と幼小接続を考えるセミナー」が上越教育大学学校教育実践研究センターとオンラインで接続し開催されました。宮古島市役所大ホール会場では、保育所・幼稚園の先生方を含む14名、下地・伊良部こども園の先生方はそれぞれの園で計8名の参加がありました。今回のセミナーでは幼児期の教育を小学校教育につなぐ『幼小接続』についての重要性や「10の姿」を手がかりに園と小学校が課題を共有するネットワークの大切さについてのお話を頂きました。以下、スライド等を含め、セミナーの様子を紹介します。



つなげるイメージ
(スライドより)
幼児期から小学校へ学びを

講演の中で、幼児期での学びをリセットすることなく、学びを生かしながら小学校教育につないでいくことが大切だというお話がありました。中学校理科教諭だった私自身、「**小学校は決して0からの出発じゃない!!**」という保育現場からの言葉に、自分自身の中学校での授業づくりは、小学校の学びを意識していたものだったかと考えさせられました。



~~~~~

また、「非認知能力」について、目標に向かって頑張る力、人とうまく関わる力、感情のコントロール力として、社会で成功するために必要な能力であり、夢中になって遊ぶ中で育ちやすい能力であるというお話もありました。



また、「園にもとめられるもの」「園でなるべくやってほしくないこと」など子どもたちのより良い発達に向けて、どのような支援が大切なのかという多くの示唆を頂きました。



最後に、講演の中で長谷川先生からありました。「よい保育者とかけて『盆栽』と説く。その心は・・・」  
さあ何でしょう。



本セミナーは今後12月までの第3水曜日(あと6回)開催予定です。保幼こ小の接続のあり方について学び合うセミナーです。ぜひ小学校低学年の先生方や小学校管理職の先生方にもご参加頂き、より充実したものになっていけたらと考えています。次回は7月21日です。7月に入りましたら参加募集を募りたいと思いますのでドシドシご参加下さい。